

## 動画を撮り・編集し・DVDに焼く 改 1

ビデオカメラを持っていないから縁のないこと、と、諦めていませんか。皆さん手持ちの携帯電話でもデジタルカメラでも動画撮影は可能です。ここ数年のデジカメでは高画質なハイビジョン撮影までが可能になっており、挿入しているメモリーカード容量によっては 30 分から 1 時間は撮影出来ます。

動画へ手出しをしない人の理由に「写真は撮影してプリント屋に持っただけで良いが、動画は編集と DVD への焼き付けを自分でやらなければならない」があります。確かに、編集したほうが気持ちよく見ることが出来ますが、編集がなくても動きのない写真よりは数倍その時の雰囲気・臨場感が伝わってきて楽しいものです。編集までは Windows 標準装備のソフトで、DVD への焼き付けは高画質化の関係でフリーソフト DVDFlick を使います。思い切って手を出してみましょう！

講座はデジカメによる動画撮影から実施しますから、デジカメ、カードリーダー(PC に SD カード差込口のない人)、書込んでいない DVD を持参する必要があります。

### 1. 各自の PC 状態により以下のソフトを入手する

\*Windows ムービーメーカー：[ここ](#)をクリック

(Win Live メーカーは多少の違いはあっても基本は同じですから、取り込む必要はありません)

\*DVD Flick：DVD に焼き付けるためのソフト、[ここ](#)をクリック

#### 重要

\*DVD Flick 日本語化：[ここ](#)をクリック (64bitPC では **program files(x86)**にインストールされるので、日本語化のフォルダもその **DVDFlick** を指定する必要があります)

取込・インストール方法は会場で説明します。Win ムービーメーカーが無い人で WiFi を持ってない人は、WiFi 保有者の近くに座るようして下さい。



Win8 のムービーメーカー起動アイコンはこんなところに

### 2. デジカメで動画を撮影する

ボタン位置が分かれば押すだけで撮影が始まり、再び押せば撮影が止まり、自動保存が行われるのが一般的です (詳しくはカメラの取扱い説明書を読んで下さい)。

#### 重要

撮影前に、カメラのメニューから動画設定が「HD」になっていることを確認する必要があります。HD になっていれば画面比率は 16:9 になっています。



撮影ボタンが付いている機種



フィルムマークに合わせて使用する機種

#### \*撮影のポイント

- ①カメラ移動はゆっくり、亀の動き程度。通常の目の移動速度で撮影されたものを見ると目が回ります。
- ②手ぶれを押さえるカメラ保持。出来れば一脚使用が好ましい。
- ③ズームの楽しさは諦める。ズームは出来る機種と出来ない機種があるが、ズーム速度はビデオカメラの10倍ほども早くズバッと変わってしまうので多用しないほうが良い。
- ④最初に会場とか場所とかの全景を短時間(5秒)でも撮影しておく。映画監督になった気持ちで物語をイメージしながら色々な場面を撮影すると、興味ある動画になる。
- ⑤同じ画面(状態)を長時間撮るのではなく、切り替えながら撮影する(1画面15秒~30秒が良いという人もいます)。
- ⑥講座では取込と編集の練習のために**撮影・停止を4回程繰り返して複数ファイル作っておくことが望ましい**(1回の撮影・停止で自動的に1ファイルが作られます)。

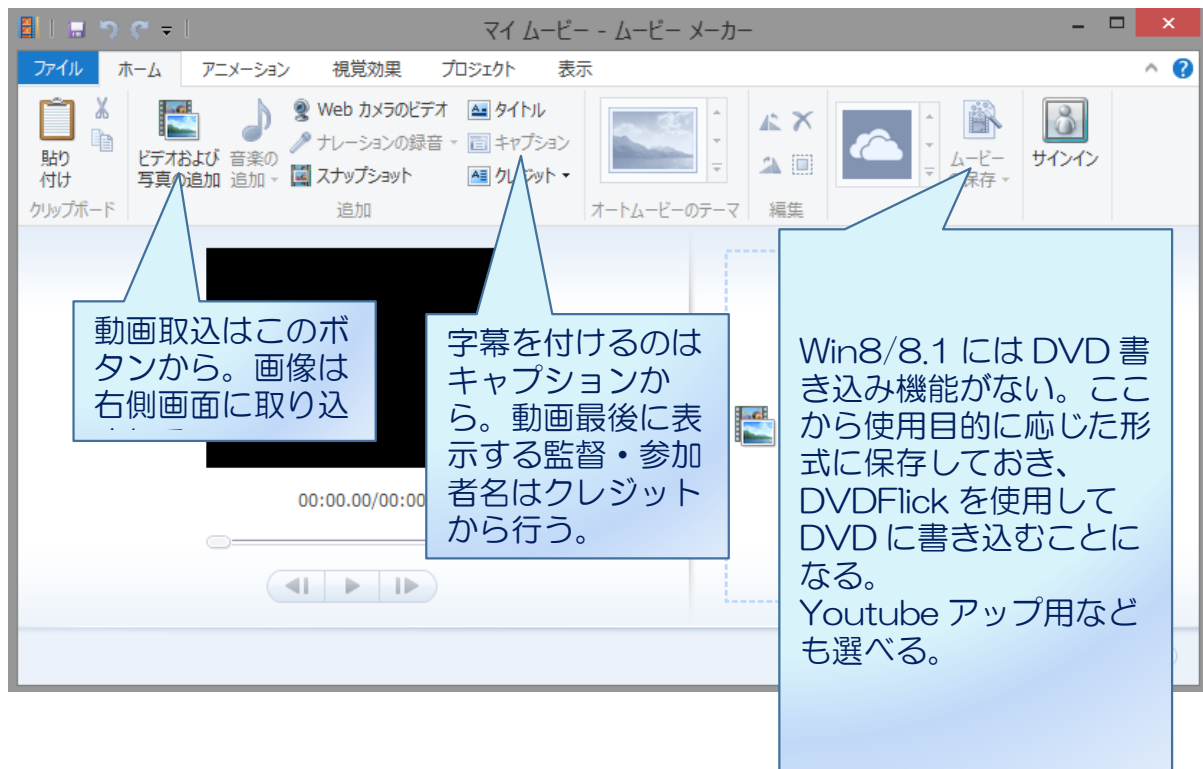
### 3. 動画ファイルをパソコンに取り込む

使い慣れたカメラ付属ソフトなどがある場合はそれで行えばよく、肝心なのは**保存場所をしっかりと把握していること**だけです。ソフトを使用しない場合は次の手順で行いますが、写真取込みと同じ手順です。

- ①SDカードをパソコンに挿入する(挿入口のないPCではカードリーダー使用)
- ②写真と同じ位置に動画ファイルがあります(一般的に)  
拡張子はカメラおよび設定によって異なりますがaviやmovが多い。
- ③**ビデオフォルダにドラッグ&ドロップ**。尚、SDカードからの移動で良い場合は右クリックでドラッグ&ドロップして、表示されるダイログから「移動」を選択する

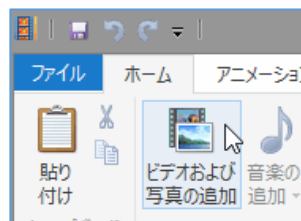
**SDカードを挿入するとPCに入っているカメラや画像関係のソフトが立ち上がる場合があります。そのソフト使用に慣れている人はそのまま使っても良いですが、どこに保存されるのか確実に把握しておいて下さい。自信のない人はそれらのソフトを使用せずにドラッグ&ドロップでデスクトップなどに保存して下さい。**

#### 4. Windows ムービーメーカーを起動する



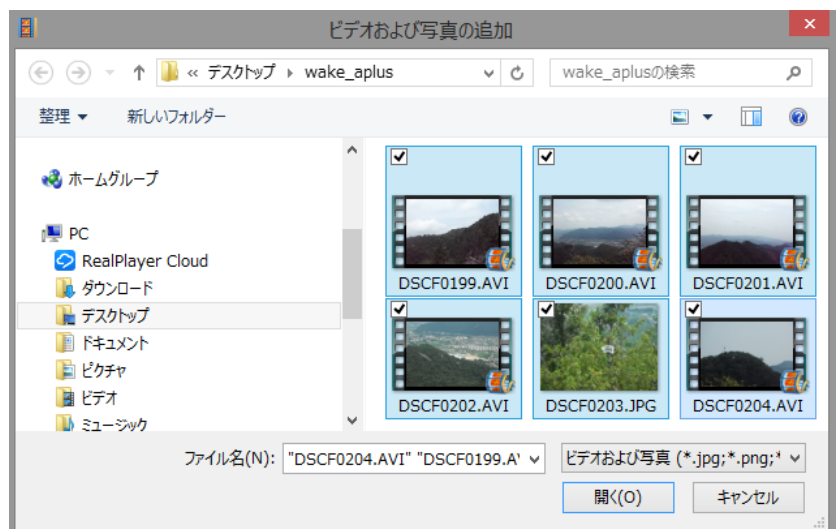
#### 5. ファイルを取込む

##### ①ビデオおよび写真をクリック

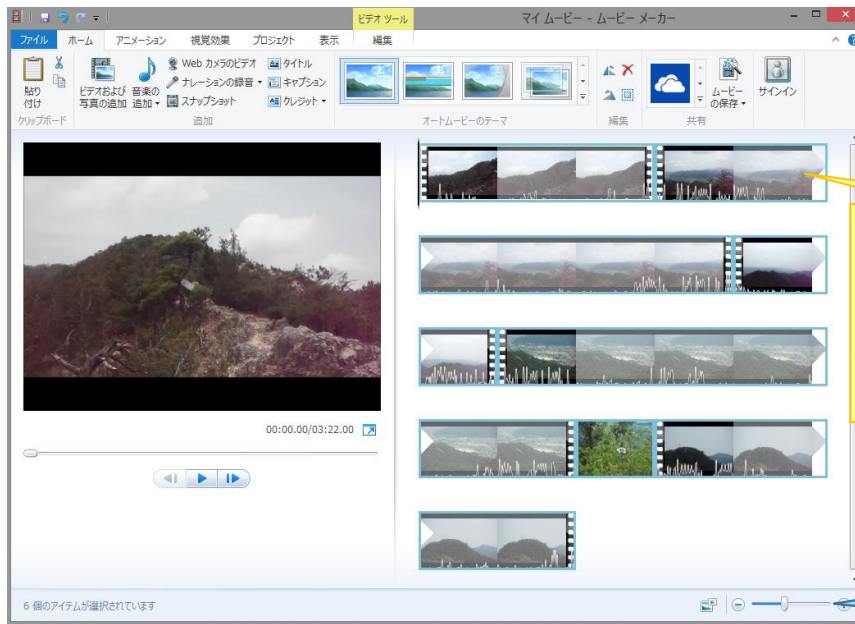


##### ②ファイルを選択。動画と静止画像を同時に取り込むことも出来る。

どのような動画でもムービーメーカーで読み込めるというわけではなく、動画の種類や PC の環境によっては読み込めないものもある。クエッションマークが表示されて動画を読み込めず、映像が表示されない場合は、その動画はムービーメーカーで編集できない。



## ＊取り込まれた状態



取り込まれてからは「クリップ」と呼びます。書類留めのクリップからきているようです。次に説明する分割でも、分割された単位をクリップと表現します。

重要

フィルム形状に表示されていない場合は+をクリック

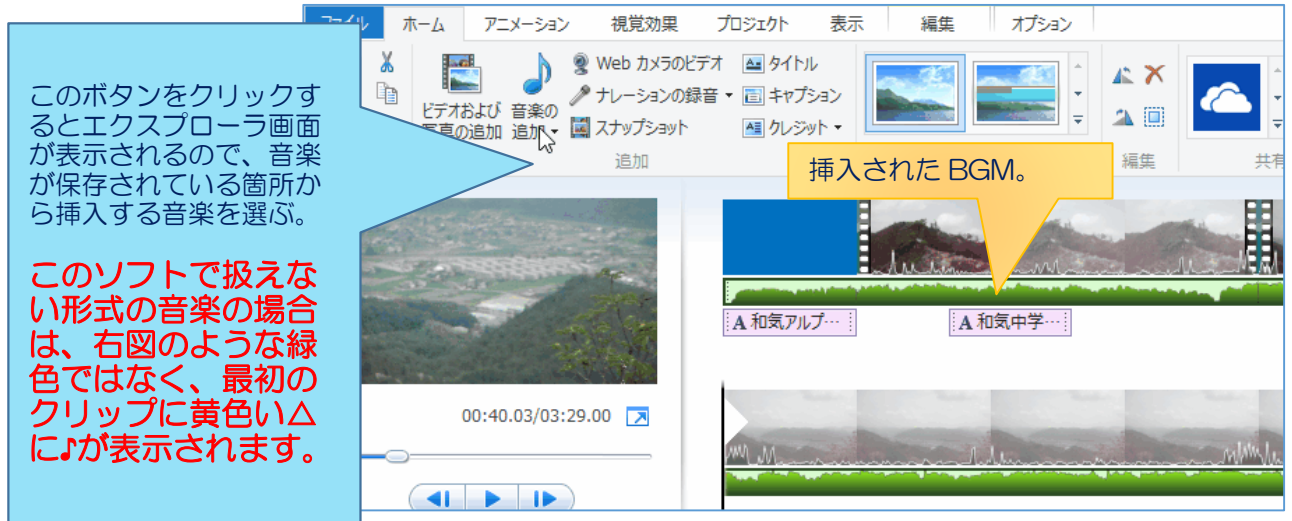
## 6. タイトル追加

タイトルボタンをクリックすると先頭クリップの前に黒背景画面が挿入され、そこにタイトルを記入します。背景色は変更出来ると共に、タイトル文字の表示は 24 種類の効果の中から選択することが出来ます。

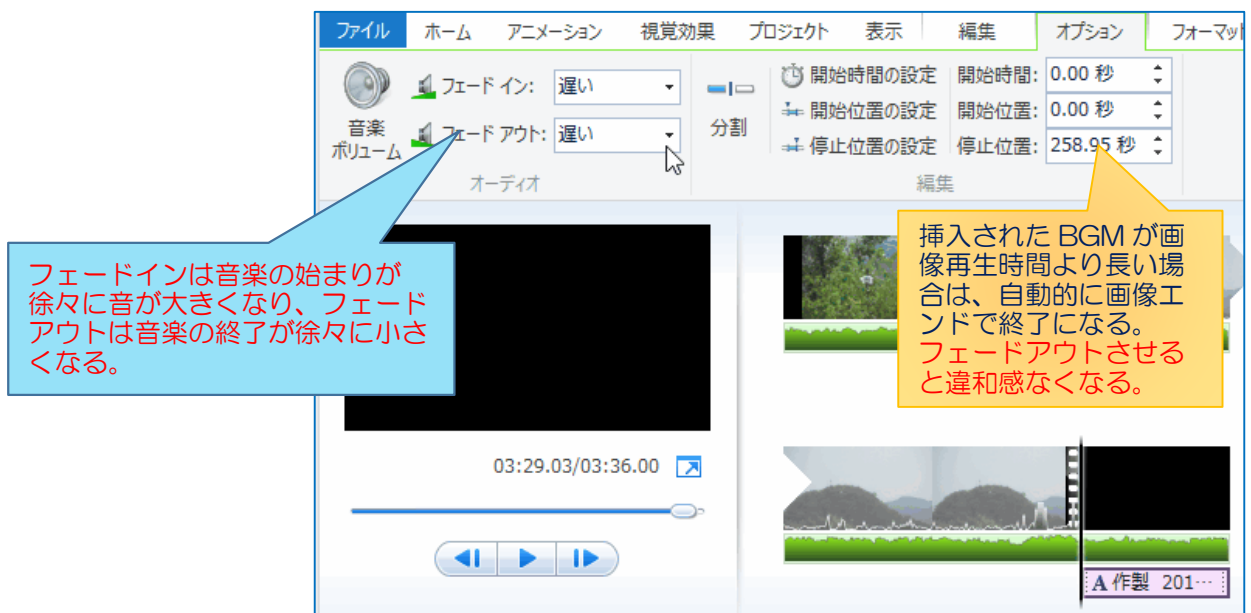


## 7. BGM 挿入

動画に音声が入っている場合は BGM が邪魔になることもあります。そうでない場合は BGM があるほうが楽しいですね。ただし、後述の注意事項を良く理解して使う必要があります。



CDの音楽は WindowsMediaPlayer を使って MP3 に変えてからでないと BGM として使えません。必要な人は自由勉強時間に質問して下さい。



### <音楽の取扱い注意事項>

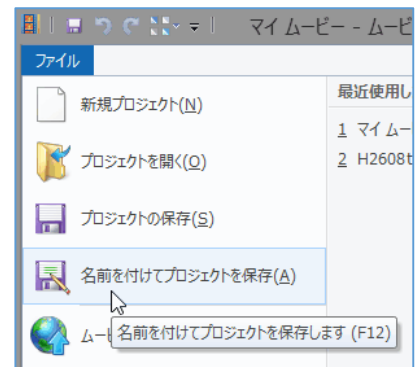
#### 重要

- ① **音楽の拡張子は mp3 が確実**。wma 可能とあるが私は跳ねられている。
- ② 個人として楽しむにはふんには著作権のある音楽でも使用可能。
- ③ Youtube にアップする場合は著作権のある音楽使用不可。実際にはアップした時点で BGM は自動削除され動画だけになる。

## 8. プロジェクトの保存

作業状態を保存するのがプロジェクト保存です。プロジェクトを開けば何時でも追加修正が可能です。尚、保存に関する注意事項ではありませんが、**元ファイル（動画・画像・音楽）を移動削除した場合はプロジェクトでは認識しなくなります**。言葉の上で動画の取込などと表現していますが、これはファイルそのものの取込みではなくファイルの情報を読み込んで内容を表示しているものです。プロジェクトを開くとファイルの位置まで読みに行っているものなので、ファイルの移動削除があると読み取れなくなって表示出来なくなるものです。

ファイル[メニュー]→名前を付けてプロジェクトの保存  
→ファイル名入力→保存（拡張子は wimp）

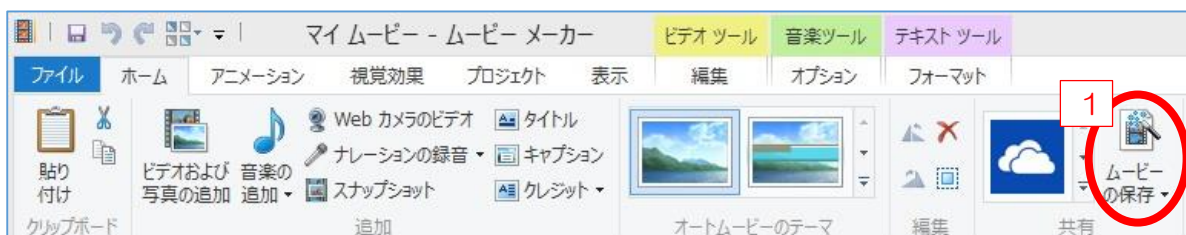


## 9. ムービーの保存

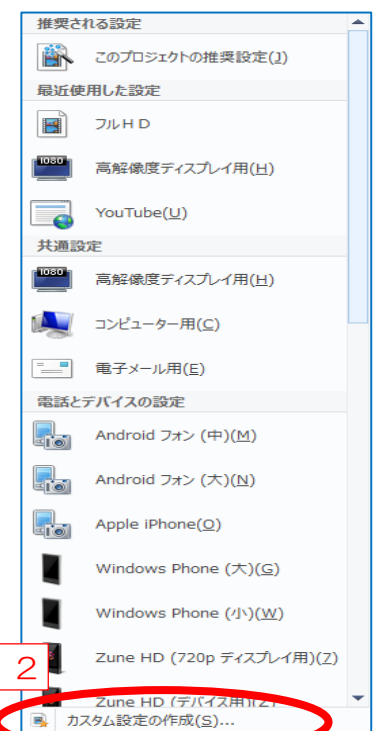
ムービー保存して初めて Windows ムービーメーカーに頼らずに動画として見る事が可能になります。

ムービー保存も DVD 焼き付けも大変長い時間を必要とします。画像サイズや PC 性能にもよりますが鑑賞時間の数十倍かかることもありますから気長に構えて下さい。

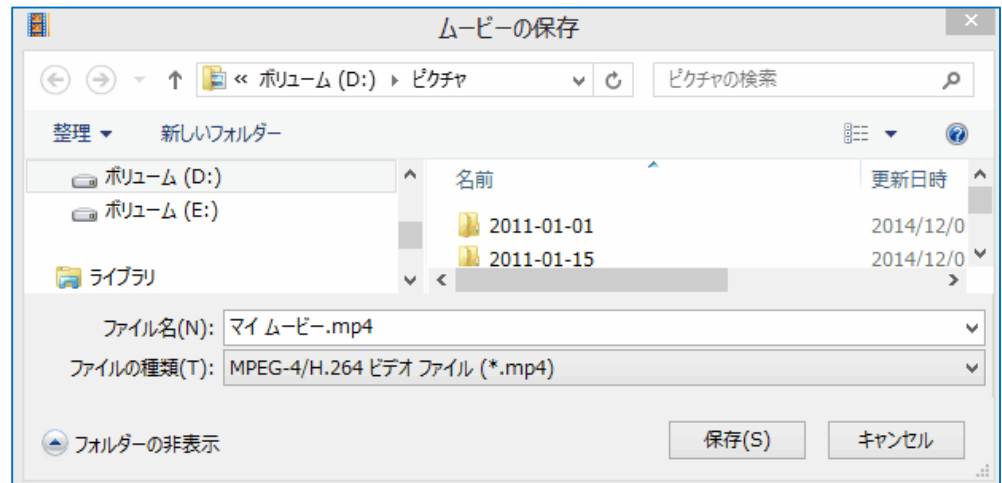
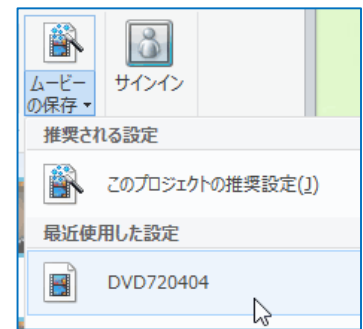
ファイル[メニュー]→ムービーの保存



- ① ムービーの保存
- ② カスタム設定の作成
- ③ 赤○部分入力



- ④ 保存をクリック
- ⑤ カスタム設定の保存ダイアログが表示される、そのまま保存
- ⑥ カスタム設定の作成ダイアログを閉じる
- ⑦ 再度ムービーの保存をクリック<sup>1</sup>
- ⑧ 設定した DVD720404 が表示されている
- ⑨ DVD720404 をクリック
- ⑩ ムービーの保存画面が表示される

**重要**

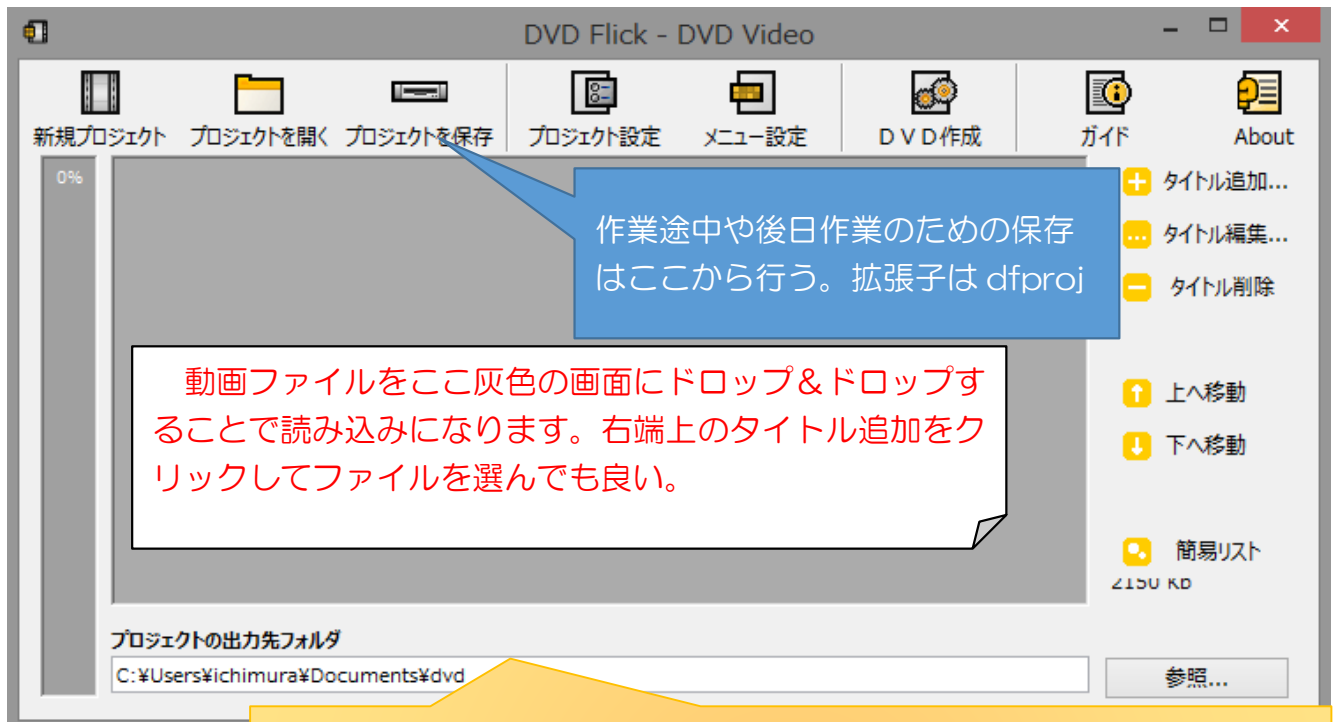
注意事項 1 : PC に日本語名を付けている場合は C ドライブ（デスクトップ含む）を選ばない。D ドライブに kari などのフォルダを作成し、そこに保存する

注意事項 2 : ここからは日本語・全角文字は使用せずに、半角英数値を使用するほうが安全。

- ⑪ 保存場所を選び、名前を付けて保存  
どこに保存したか確認してメモを残しておく（自信のない人は）

## 10. DVDに焼く

- 1). DVD Flick を起動する
- 2). DVD Flick の画面の説明



DVD に直接焼く機能はなく、一度 DVD 化したものを保存しておいて、次に DVD 焼き付けソフト ImbBurn を立ち上げて DVD に焼き付けるステップになる（自動処理）。その保存場所をここで指定する。

**パス要注意：日本語名が入っていると次に進めません。Dドライブに kari などのフォルダを作って、参照から指定しなおす必要がある。**

（保存させない設定はない）

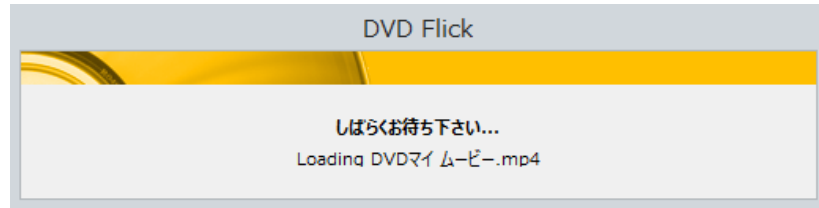
### 3). プロジェクトの設定（最初に1回設定するだけ）

- ◆ 一般設定 エンコード優先順位 Below normal→Normal に  
スレッド数 自動検出なので触らない(CPU のスレッド)
  - ◆ ビデオ設定 ターゲットフォーマル NTSC このまま  
エンコード品質 Normal→Best  
ターゲットビットレート Custom  
カスタムビットレート 9000 **重要**  
**詳細設定**をクリック MPEG2 はコピーにチェック
  - ◆ オーディオ設定 このまま
  - ◆ 再生設定 最後まで再生したら最初からループ再生する→チェックを外す
  - ◆ 書込設定 書込完了後にディスクを自動排出する→チェックを入れる  
プロジェクトをディスクに書き込む チェックを入れる

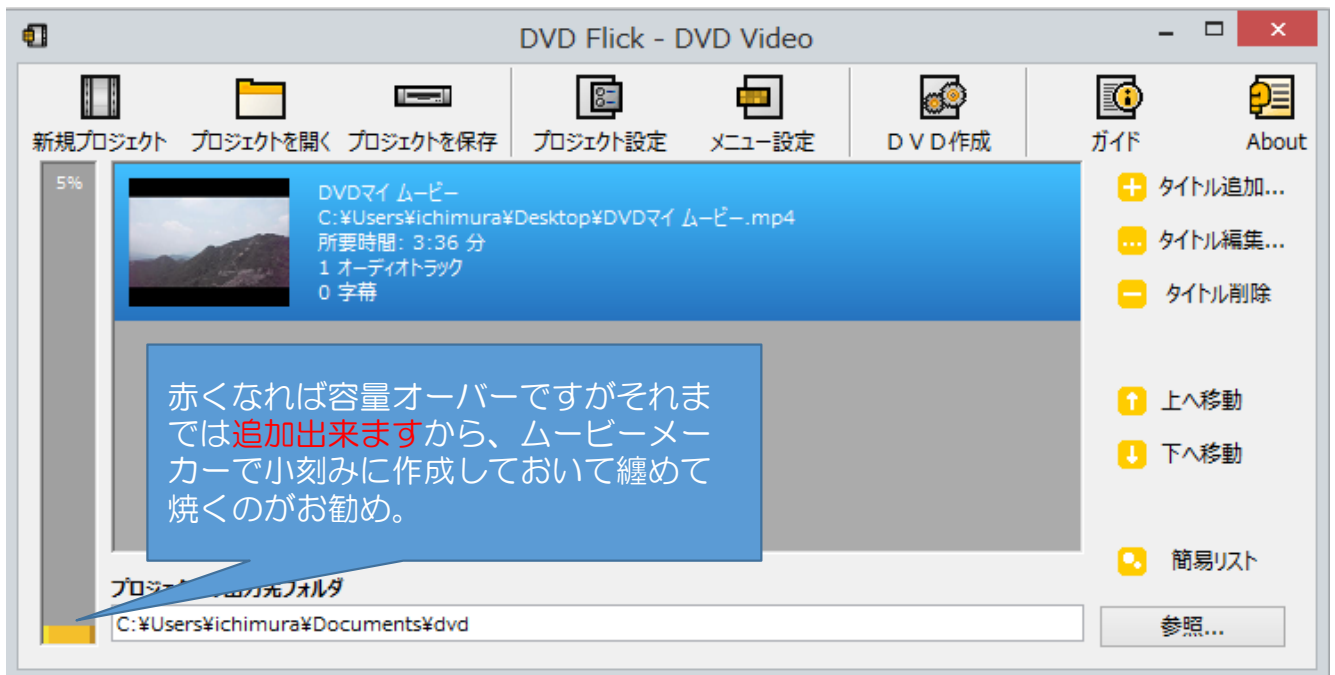
**既定値に設定**をクリック。**適用**をクリック。

## 4). 動画を読み込む

しばらくお待ち下さいのメッセージが出ます。

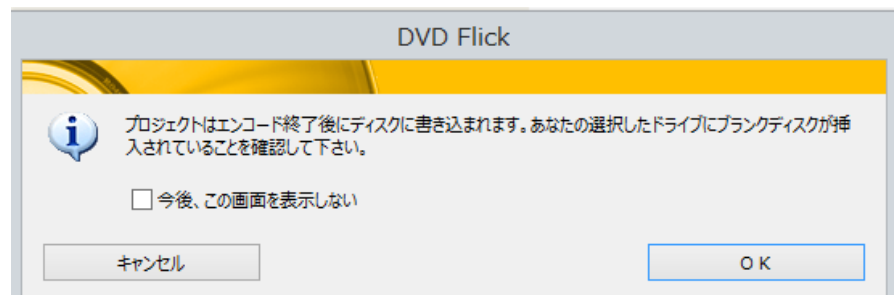


## 5). 取り込まれた状態

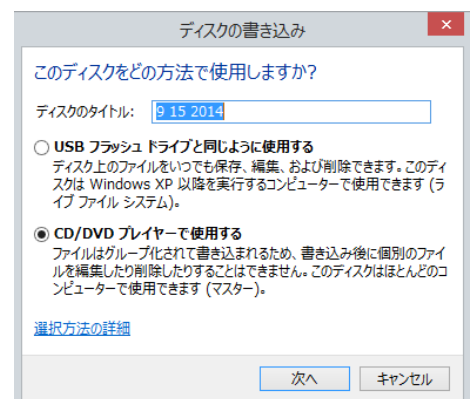


## 6). DVD 作成ボタンをクリック

## 7). 下記メッセージにOK、ドライブに DVD を挿入しておく



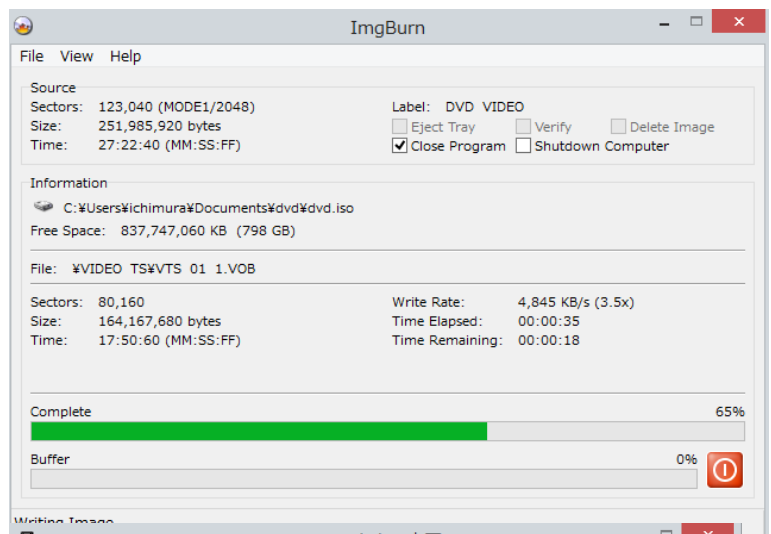
注：右メッセージが出た場合はキャンセル、これは DVD を挿入したことによる Windows からのメッセージで DVDFlick からのものではありません、



## 8). 処理状況が表示される



## 9). DVD 化（オーサリング）が終了すると ImgBurn が起動して DVD への書き込みが始まる



## 10). DVD 書き込み完了



再生時間 3.36 分 mp4 72.9MB のものが、私の P C で処理時間 9.16 分、容量は 239MB になっていました。

## 重要

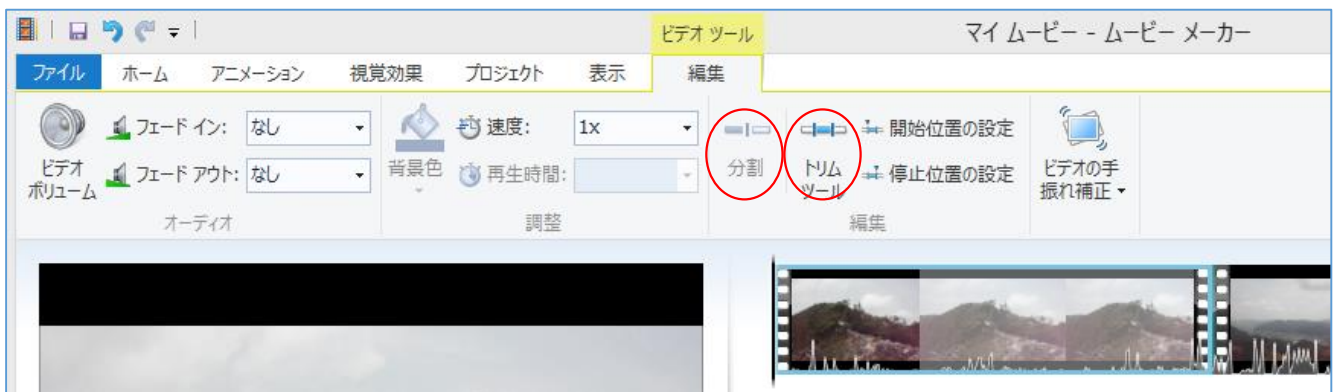
出来上がった DVD は PC では再生出来ないのが普通です。再生するための専用ソフトが必要で、メーカーPC には DVDWin や PowerDVD などの専用ソフトがインストールされていることが多いのですが関連付けしないと自動再生しません。再生ソフトが入っていない場合はフリーソフト Windows Media Plyer Classic Home Cinema を入れると良いでしょう。

ここからは講座時間の関係で説明を省いた部分の記述になります。自主勉強の範囲になりますが、カッコいい動画、見やすい動画にするためにはどうしても必要なことであり、これから動画を楽しみたい人は是非勉強してください。自主勉強して分からなかったことは自由時間に質問してください。

## 1 1. 編集—不要部分のカット

不要部分のカットには、分割して不要部分を削除する方法とトリムツールを使う方法があります。いずれも画面を見ながら行うことが出来る簡単なもので、手順の少なさではトリムツール（トリミング）のほうが便利かもしれません。

編集タブにある「分割」もしくは「トリムツール」を使います。



### A. 分割／削除

再生ボタンを押してプレビュー画面を確認しながら、分割したい箇所で停止ボタンを押す。次に「分割」ボタンを押す。もしくは、タイムラインのスライダーをその箇所までドラッグして、「分割」ボタンを押す。

考え方

下にある再生ボタンを押して、停止ボタンを直ぐに押せる体制で再生画面を見る。分割したい箇所で停止ボタンを押し、それから分割ボタンを押す。

再生と連動してスライダーが動く。スライダーをドラッグすると左画面も連動して変わるので、分割したい箇所を選ぶことが出来る。微調整しにくいのが難点。

頭をカットするなら、この一箇所の分割だけで、分割部分を**右クリックして削除**を選ぶ。

真ん中をカットするなら、この2箇所を分割しえから、分割部分を**右クリックして削除**を選ぶ。

カットしてもオリジナルファイルには一切影響ないので、安心して作業すること。

## B. トリムツール

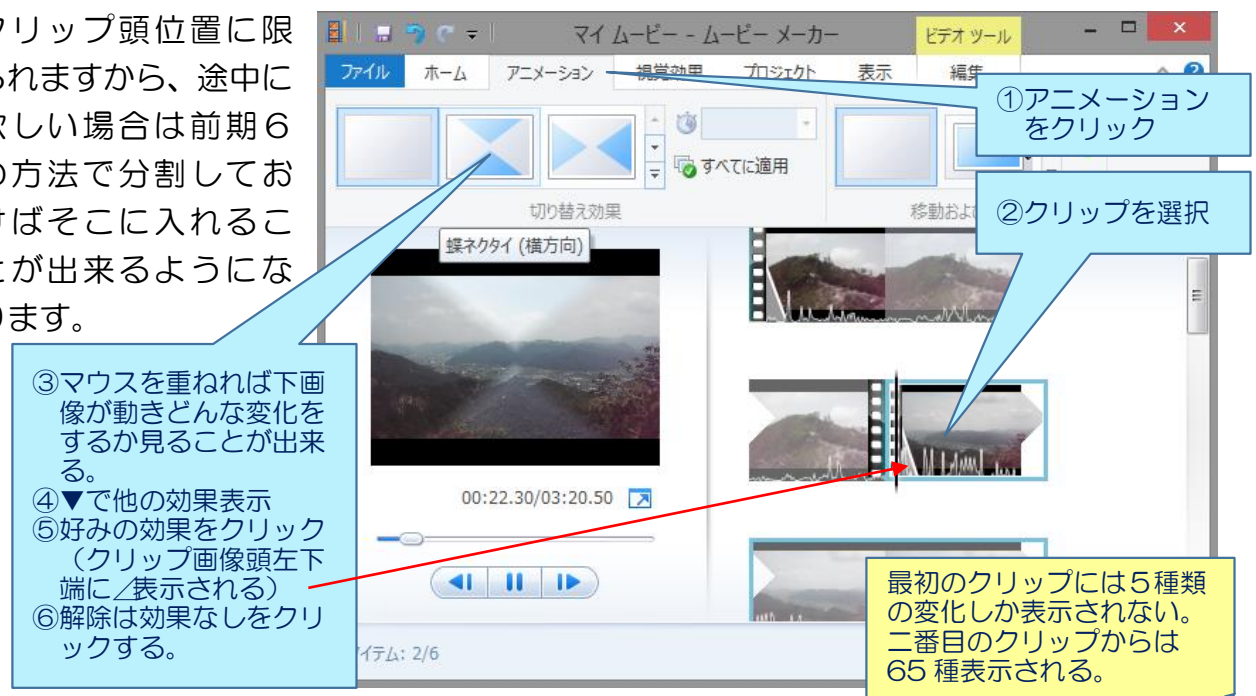
写真のトリミングと同じで、選んだ範囲だけが残し、選んでいない範囲が削除されます。

トリムツールをクリックすると下記画面になり、左側の画面下のシークバーを操作してトリミング範囲を決めます。



## 12. シーンが変わる切替え位置に画像変化（アニメーション）を加える

クリップの再生頭位置には、開始画面が徐々に現れるフェードインや市松模様などの効果を 65 種の中から選ぶことが出来ます。アニメーションを加えることが出来るのはクリップ頭位置に限られますから、途中で欲しい場合は前期6の方法で分割しておけばそこに入れることが出来るようになります。



### 1 3. 移動および拡大アニメーション効果

32 種類の移動および拡大効果が準備されていますが、動画撮影ではポジションを狙いまたズーム（拡大）を取り入れながら撮影することもあり、その動画に効果を加える価値があるのかどうか実感出来ませんでした。写真からスライドショーにする場合には静止画像が動画風になることで効果を実感出来ますが、動画では疑問ですから説明を省略します。

### 1 4. テロップ追加

クリップに説明文を表示させるテロップは、ここではキャプションと云っています。

使い方は上記タイトルと同じ。クリップの長さの範囲で複数キャプション挿入可能。

クリップボード

テロップ挿入位置の画像を選んでおいてからクリックする。

挿入位置はここをつまんで移動することが出来る。

表示時間はここで調整。文章が長い場合は長く。

フォント種類、サイズ、色、太字などは、画面上の文字列をクリックしてからこの部分の各種ボタンで行う（Wordと同じ）

キャプション表示位置調整は、マウスを合わせて十字マークが出てからドラッグする。

削除は右クリックから削除を選ぶ。

### 1 5. クレジット追加

クレジットは映画終了後に出てくる監督や出演者のリストです。使い方はタイトルと同じですから興味のある人は行ってみて下さい。講座では時間の関係上省略します。

クレジットをクリックすると右入力画面になる。

画面をクリックすると入力出来るようになる。

ここにクレジットが追加される。